

# 3 学年協働で行う「学び合い」の実践

～実践的・体験的な学習一場面より～ 【神奈川工業高校 デザイン科】

## ①課題提示からはじまった「学び合い」の活動

- 夏休み期間に各自が制作した作品へのアドバイスやよりよく発表するための練習を行う
- 各学年1名ずつの3名による班編成(40班)を行い、各自1テーマ出品する
- チューター制度により生徒同士が相談しやすい環境を作るとともにつながりを創出する



## ②夏季休業中課題発表会

- 全員一から作品を制作するので、下級生は上級生の技術レベルを見て自分との違いを実感する
- 全員が自分の作品を発表し、事後には発表についての振り返りを行う



## ③振り返り活動

- 学年の壁を越えてコミュニケーションを取ることで関係性の強化と次年度の自分の立ち回りを理解する



発表についての意見交換のみならず、日頃の学習の方法や、今のうちに準備しておいた方がよいことなど、学校生活を豊かに送るための質問やアドバイスも聞こえてきた

### 教師の実感

生徒同士の学び合いを通じて、文化祭などのイベントだけでなく、普段の学校生活でも先輩後輩とコミュニケーションをとる機会が増え、クラス以外のコミュニティ、居場所を作ることにつながった。

### 生徒の気づき/コメント

- Q LINEグループでのやり取りで、発表の待ち時間について質問をしたら、文字数や言うべきこと、発表の態度など、たくさんのことを丁寧に教えてくれてとても助かった。初めての発表会でいろいろなことが心配だったが先輩の助言はとても有益でありがたかった。【1年生】
- Q 1年生に、発表前にあらかじめ発表時の雰囲気などを伝えて緊張を少しでも身構えられるようにしてあげるなど、私が言われたら安心する言葉を選んで伝えられたと思います。3年生の先輩にも伝わりやすいまとめ方なども教えてもらったので次回の夏課題の発表などでも活かしていきたいです。【2年生】
- Q たてわりで関われる貴重な機会なので今後も続けていくべきだと思います。他学年との交流をすることでお互いの成長に繋がりました。【3年生】